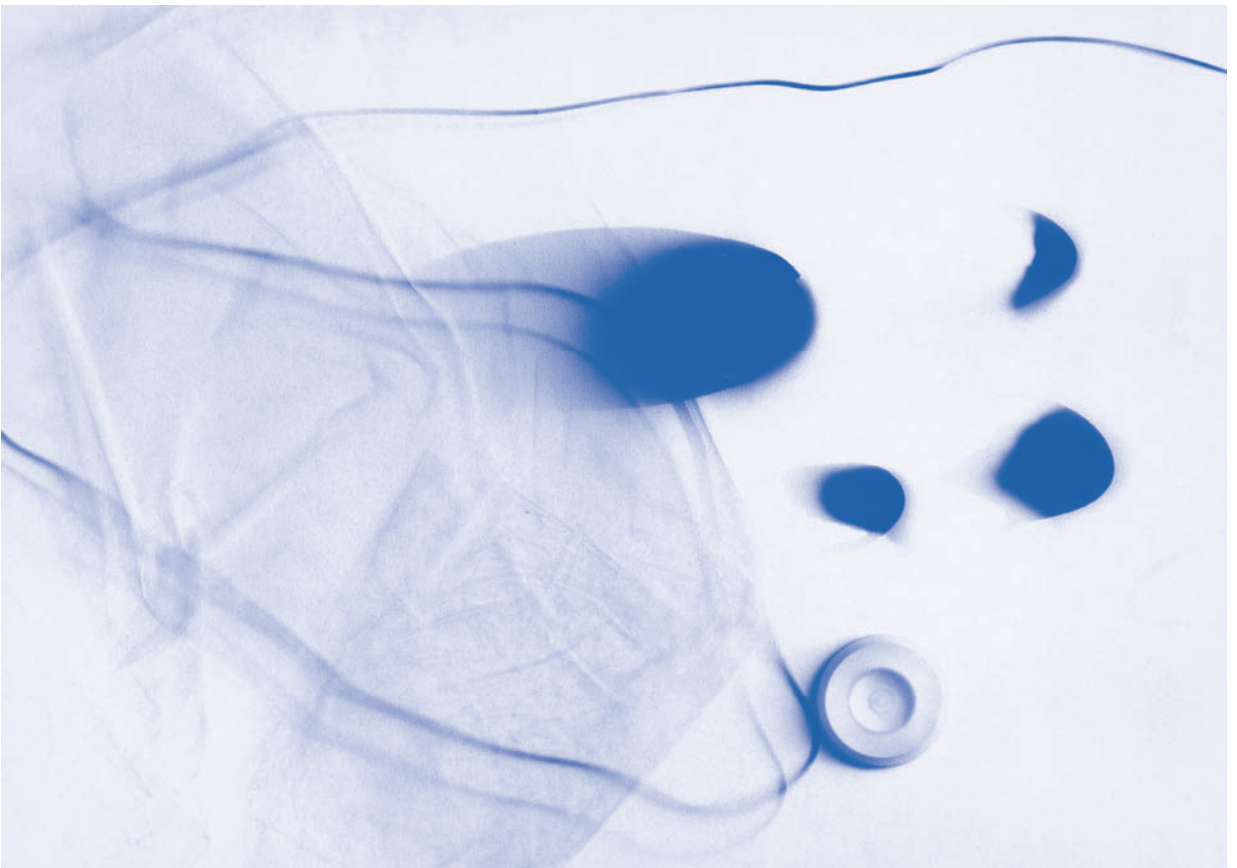


Parlando

ぱるらんど 「語りかけるように歌う」という意味の楽想記号です

254



Contents

- 問いかけること…佐藤真一●1
- Welcome to our library 図書館を知ろう OPAC を使いこなそう…●2
- G. タルティーニの音楽観 — 『ヴァイオリン奏法』全訳から見てきたもの…米村律子●6
- イーギリスニング考…宮部真砂子●8
- お薦め! 諦める前の図書館員との対話…小関康幸●9
- 竹内道敬寄託文庫目録(その十一) 電子化公開…●10
- ナクソス・ミュージック・ライブラリー お使い下さい…●11
- 2006年度 ばるらんど総目次…●12
- ばるらんどからのお知らせ…●13
- Book / DVD…上野加奈・善里卓哉・山口智愛●14
- Information…●16

問いかけること

佐藤 真一

遠い記憶のなかに、一つの情景が浮かんでくる。共立講堂で、小学校の合唱コンクールが開かれていた。私たち、杉並区立西田小学校の五〇名の生徒たちは、『水車小屋の歌』をうたった。

小川の岸の／＼コットン／＼粉引き小屋の／＼コットン
水車はまわる／＼コットン／＼朝風のせて／＼コットン、
コットン。

私のパートは、「コットン」と合いの手を入れるだけ。歌詞の部分も歌いたかったと今でも思う。

「ト音記号ってなんだっけ？」と考え込むほど、私は音楽の知識に乏しい。けれども音楽は、私にとって喜びである。とりわけ心動かされたのは、中学三年生の時だった。遊びに出かけた友達の家で、ステレオから流れてくるモーツァルトの『アイネ・クライネ・ナハトムジーク』に聴き入った。「こんなにも美しい世界があるのだ」。身の震えるような経験であった。さつそく、ブルーノ・ワルター指揮のドーナツ盤レコードを買ってきて、おもちゃのような電池式プレーヤーで繰り返し聴いた。

皆さんは、より深い音楽の喜びを経験してこの大学の門をくぐられたことであろう。音楽のさまざまな分野の勉強を通じて、その感動を是非とも深めていつてほしい。そしてその感動は、きつと様々な「問いかけ」と結びついていることだろう。どのようにしたらよりよい演奏ができるだろうか。この作曲家はどんな時代にどのようなことを考えながら作品を生み出したのだろうか。音楽理論の面から分析すると、この曲はどんな特徴を備えているのだろうか。

私がこれまで携わってきた歴史研究においても、「問いかけ」はいつも身近にあった。私が大学に入学したのは、一九六六年である。当時、私の大学は一五〇日間にわたるストライキの只中にあつた。ベトナム戦争反対、学生会館の管理運営権を学生の手に、といったスローガンのもとに授業がボイコットされていたのである。バリケードの内側では、連日、クラス討論が繰り返された。古い時代の、しかもヨーロッパの歴史を学ぶことと、揺れ動く日本の現実の中で生きることとをどう関連づけたらよいのか。このことを、否応なく考えざるを得なかった。大学の封鎖が解かれて以来、私はこのような問いを抱えて、しばしば大学の図書館に通った。大学院に進むと、書庫に入ることが許可された。足音だけが響く書庫で、時には一〇〇年以上も前に書かれた本を開くこともあつた。革表紙からは茶色の粉がばらばらと落ちた。それらの書物は私の問いに対して、それぞれの仕方で、示唆を与えてくれたのである。

こうした経験を通じて、伝統というものは誰にでも自明なものとしてそこに存在するものではなく、私たちが問いかけたとき、その問いの深さに応じてその姿を現すものなのではないか、と考えるようになった。深い感動からであれ、切実な現実的関心からであれ、問いかけるときに初めて、図書館の蔵書はその本来の輝きを示してくれるであろう。

充実した音楽図書館として定評のある国立音楽大学の図書館は、皆さんの勉学にとってかけがえのない場になるに違いない。楽譜やCD、DVDはもとより、多くの音楽書が皆さんの「問いかけ」を待っている。

WELCOME TO OUR LIBRARY

図書館を知ろう

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。
これから卒業まで、また卒業してからも利用できる
図書館。なかなか頼りになりますよ。
その頼りになるところをご紹介します。

学生証 II 図書館利用証

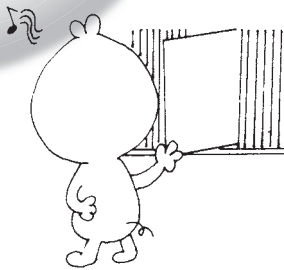
あなたがくにたちの学生で、図書館を利用する資格があると証明してくれるカードです。忘れると図書館に入館できません。資料の利用もできません。ご注意ください！

《学生証》

資料を探すには

コンピュータ目録で探しましょう。慣れるまでは大変ですが、使いこなせばいろんな探し方が可能です。インターネット経由で、図書館の外からもアクセスすることができ、使い方が分からないときは図書館スタッフまで気軽に声をかけてください。

《OPAC》



困ったときは

レファレンス・カウンター

膨大な資料を前にして何をどう探してよいかわからない時など、気軽に相談してください。図書館の使い方、資料の探し方、そのほか図書館に関する質問にお答えします。

《レファレンス・カウンター》



世界中から情報収集

図書館資料だけで満足できない時は、インターネットを使って情報を集めてみましょう。音楽配信サービス、ナクソス・ミュージック・ライブラリーもここで利用できます。また、当館のウェブサイトに便利なリンク集もあります。

《インターネット室》

T L I して何

国際基督教大学、武蔵野美術大学、東京経済大学、津田塾大学の各図書館の資料を、当館の資料と同じように、当館のカウンターで請求して借りることができます。当館にない資料が必要な時は、TACOPAC (TACC のコンピュータ目録) を探してみましょう。

《TACC》

(多摩アカデミック・コンソーシアム)

まず、先生お薦めの本から

授業に関連する資料は、推薦図書コーナーにまとめてあります。参考図書室の中でお読みください。借りて帰りたい場合には書庫に同じ本がありますのでカウンターで請求してください。

《推薦図書コーナー》

＜市販ソフト＞

市販のソフトのほか、著名な先生方をお招きして開いた公開レクシオンや、大学院オペラ公演の記録など、くにたけでしか視聴できない映像資料もたくさんあります。

《ビデオ・LD・DVD》

『音楽の友』『ムジカノワア』:

日本で出版されたクラシック音楽関係の雑誌のほとんどのものがそろっています。また外国の主要な音楽雑誌も受け入れています。現在約2500タイトルの雑誌が図書館にあります。

《雑誌》

聴き比べをしよう

国内外で発売されたクラシック音楽のCDを中心に、5万点を所蔵しています。同じ曲でいろんな演奏家のCDがあるので、聴き比べてみて下さい。民俗音楽やポピュラー、コマリシヤルの音楽や効果音などのCDもあります。

《CD》

『東京タワー』を

読みたいんですけど

残念！ ないんですよ。13万冊の蔵書の中身は、音楽関係の本と授業に必要な本。小説などはほとんどありません。公共図書館とうまく使い分けて下さい。音楽関係なら、クラシックのほかポピュラー、民俗音楽など幅広く集められています。

《図書》

80冊のインヴェンション

同じ曲の楽譜でも出版社や校訂者によって違いがありますよ。この曲はこの版でと指定されることもあります。さまざまなお要望に応えられるよう、ジャンルもできるだけそろえています。楽譜はおよそ12万冊所蔵しています。

《楽譜》



ベートーヴェンが触った

楽譜があるかもしれない

当館はベートーヴェンの楽譜コレクションでは世界で4番目。ベートーヴェンが生きていた時代や死後の19世紀中に刊行された楽譜が約1300点あります。皆さんにはマイクロ・フィルムで見たいだけでなくあります。その他日本音楽の貴重資料もあります。

《貴重資料》

「カシタシチコウ」です

今ほかの人が使っている資料。予約をすれば、次はあなたの番です。OPACの利用状況から、返却されたかどうかチェックできます。ハガキでもお知らせします。返却されてから1週間取り置きしますので、その間に借りに来て下さい。

《予約》

読み終わらない

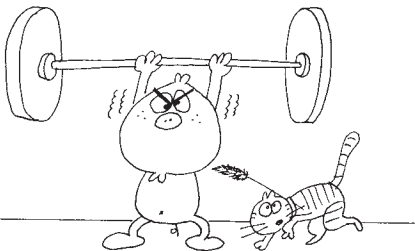
継続の手続きをすれば、返却期限を延ばせます。学生証(図書館利用証)とその資料を持って、返却日までにカウンターに来て下さい。予約が入っていたら、残念ですがまた次回。

《継続》

資料を大切に

図書館内は飲食禁止です。資料はみんなの共有財産。万が一飲み物や食べ物をごぼして汚してしまつたら、次の人が気持ちよく利用できません。ご自宅に持ち帰つた時にもご注意を。よろしくお願ひします。

《マナー》



OPAC を使いこなそう!

やわらかな春の陽射しがふりそそぐキャンパスを、どうやら新入生らしいふたりが歩いています。おや? 図書館に行くようですね。

「ねえねえ、図書館使ってる?」

「うん。なんか、すっごいいっぱい楽譜とかCDとかあって、うれしくなっちゃった。ほとんど毎日行ってるよ。」

「でもさー、あの、おぼく? 必ずパソコンでさがさなきゃなんないのが、ちよつとめんどくさいよね。」

「おぼつく、だよ。たしかに最初はびっくりしたけど、あれ、なれるとけっこう便利なんだよ。」

「そうなの?」

そうなんです。図書館で持っている資料を探すためのコンピュータ目録、OPAC。はじめのうちは、とまどってしまう人もいるかもしれませんが、これがなかなかのすぐれもの。というわけで、ここでは、OPACを使ってできるあんなこと、こんなことの一部を書き出してみました。

●いろいろな国の言葉で探す。

《フィガロの結婚》《Nozze di Figaro》
《Hochzeit des Figaro》《Marriage of Figaro》
《Figarova svatba》…

●曲のニックネームから探す。

《第九》《悲愴》《小犬のワルツ》
《ジュピター》…

●楽譜やCDなどのタイトルから探す。

『イタリア歌曲集』とか『螢の光のすべて』とか。

●出版社を限定して探す。

ペータース版、ヘンレ版、
音楽之友社版、全音版…

●番号で探す。

CDの発売番号、国際標準番号 (ISBN)、
プレート番号、資料の請求記号…

●演奏者を限定して探す。

ケルベローヴァの歌っている《魔笛》、
仲道郁代の弾くベートーヴェン、小澤
征爾の振っているボストン交響楽団…

●あるテーマについての本を探す。

ピアノの指導について、バリ島の音楽について、
留学について、ヴァイオリン製作について…

●楽器の組み合わせで探す。

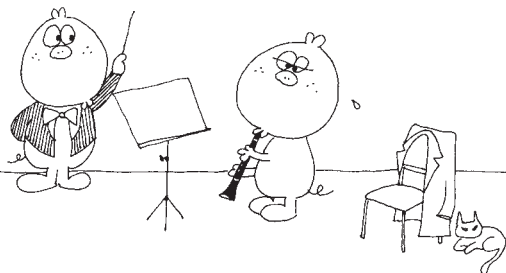
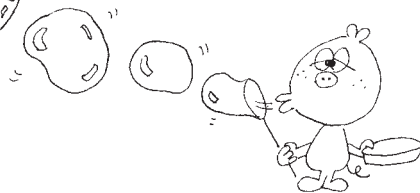
ピアノ連弾、ピアノ2台、フルートとハープと
オーケストラ、弦楽四重奏、尺八とチェロ…

●雑誌を探す。

『音楽之友』創刊号、先月号の『ストリングス』、
NHKで出している雑誌…

●編曲者を限定して探す。

ブゾーニ編曲のJ.S. バッハの作品、リムスキー
= コルサコフ編曲の《はげ山の一夜》…



●メイキング、インタビュー、ドキュメンタリー映像を探す。

オペラのメイキング、ジャズ・プレイヤーのインタビュー、バレエダンサーのドキュメンタリー…

●タイトルがうろ覚え。

《連隊のナントカ》?、“モーツァルト”がタイトルに入っていた、『日本の歌』か『日本のうた』か…

●翻訳された本の原書を探す。外国語の本の日本語訳を探す。

『モーツァルト書簡全集』、レナート・バーンスタイン著『答えのない質問』…

●オリジナル編成の資料だけ探す。

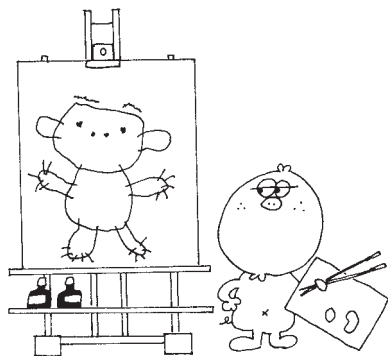
サン＝サーンス《白鳥》の2台ピアノとチェロの楽譜・CD、ラフマニノフ《ヴォカリーズ》の声楽の楽譜・CD…

●録音年代を限定して探す。

おとしのあのオペラのライブ録音、1930年代に録音された流行歌…

●オリジナル楽器での演奏。現代楽器での演奏。

ハーブシコードで弾くバッハ、ピアノで弾くバッハ、アルペジオーネを使ったシューベルトのソナタ、古楽器アンサンブル…



●校訂者を限定して探す。

コルトー版のショパン、ノーヴァク版のブルックナー…

●作曲家自身による演奏を探す。

バルトーク、ラヴェル、ドビュッシー、サン＝サーンス、マーラー、リヒャルト・シュトラウス…

●映画を探す。

オペラ映画、ミュージカル映画…BGM研究のためのディズニー、ジブリ、北野武…

●オペラのアリア1曲だけを探す。

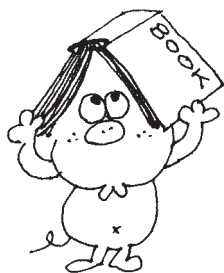
「恋とはどんなものかしら」、「歌に生き恋に生き」、「オンブラ・マイ・フ」、「だれも寝てはならぬ」…

●音楽家の肖像を探す。

ドヴォルザークの肖像画、ジャズ・ミュージシャンの写真、さまざまな指揮者の写真…

●小・中・高校の教師用指導書を探す。

他に教科書そのものも、教科書準拠CDも



ほかにもいろいろな使い方があります。また、OPACとは別の道具を使って探したほうがよい場合もあります。「こういう資料はどうやって探せばいいの?」「やってみただけどうまく探せない!」「たくさんありすぎて困った!」「これしかないのかなあ…」そんなときはぜひ、図書館スタッフに声をかけてください。マメに質問して疑問を解決していくうちに、きっとあなたもOPACを、そして図書館を使いこなせるようになっていくことでしょう。

G. タルティーニの音楽観

『ヴァイオリン奏法』全訳から見てきたもの

イタリアの音楽家ジュゼッペ・タルティーニ(1692-1770)による
ヴァイオリン指導書の翻訳を通して彼の音楽観を探ってみました。

米村 律子 (音楽学学科平成18年度卒業)

『ヴァイオリン奏法』の 翻訳について

タルティーニは18世紀のヴァイオリニスト、作曲家、そして、音楽理論家です。ヴァイオリン・ソナタ《悪魔のトリル》は彼の代表作です。彼はイタリアのパドヴァで1726年、音楽学校を設立してヴァイオリンの教授をしていました。タルティーニは「差音」という現象(振動数の異なる

二つの音が同時に伝わると、その振動数の差の振動数を持つ低い音も人間の聴覚には聞こえるという現象)をはじめて発見した人としても知られています。

『ヴァイオリン奏法』はタルティーニの音楽学校で指導書として使われていたようです。成立は、1752年〜1756年の間と推定されていて、オリジナルのタイトルは“Regole per arrivare a saper ben suonare il Violino...”(ヴァイオリンを上手に演奏できるようにするための教則)という長いものです。

この指導書のイタリア語によるオリジナルの手稿は20世紀の中頃1957年になって、やっと発見されました。それまでは、1771年にパリで出版されたフランス語の翻訳版だけが残っていました。イタリア語オリジナルの版が長く不明であったせいもあってか、レオポルト・モーツァルトやジェミニニアニのヴァイオリン指導書に比べて一般にはあまり知られていないように思います。日本語訳が出版されていないこともそのような一面を表しているかもしれません。

そこで、今回、1957年に発見されたイタリア語オリジナルの版を日本語に翻訳することに挑戦しました。

『ヴァイオリン奏法』の概要

この指導書はおおよそA4サイズの横長のものです(タイトルの写真参照)。(一)運弓法、(二)装飾法、(三)装飾表現という三つのパートから構成されています。運弓法では、カンタービレの曲とアレグロの曲の演奏法の違いが記述されています。カンタービレの曲はよりカンタービレらしく表現し、アレグロの曲はより快活に表現するための弓の使い方が論じられています。

装飾法のパートでは、前打音、トリル、ヴィブラート、モルデントについて豊富な譜例とその装飾音の機能、そして旋律のどの部分にその装飾音を適用すると「良い趣味」の音楽表現ができるかを論じています。

装飾表現のパートは、単純なメロディーに自由に施す装飾に関する点、終止のカデンツァに施す装飾に関する点の二つの内容について書かれています。

『ヴァイオリン奏法』の特徴

一般にこの『ヴァイオリン奏法』は、「ヴァイオリンで歌うように演奏する」というタルティーニが理想とする音楽実践を実現するための方法が込められていると

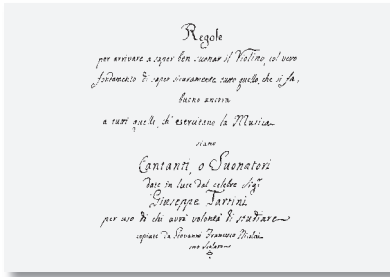
されています。本文を読んでみると、確かに、「カンタービレ」の演奏方法と「アレグロ」の演奏方法を常に対比させる解説にタルティーニが目指していた音楽実践を窺い知ることが出来ます。

しかし、今回の翻訳を通して、『ヴァイオリン奏法』にはこの特徴以外に二つの大きな特徴があることが分りました。

一番目は、実証的な音楽研究の姿勢が見られるということです。それは、文体や説明の仕方に現れています。タルティーニは「差音」という現象を重視し、楽器を使った実験なども試みていたので、このような音楽研究の姿勢が特徴として表れているのではないかと考えられます。

また、タルティーニは古い時代から歌い継がれている一般の人々の音楽(例えば、ヴェニスのゴンドラの船頭の歌:)を観察し、特別な音楽教育を受けたことのない人々が自然に旋律に付けて歌う装飾表現を収集しています。タルティーニが民族音楽学的な観察、記録を行っていたことはあまり知られていないのではないかと思います。この点についても実証的な音楽研究の姿勢と見ることが出来ます。

そして、二番目の特徴は、「自然」という言葉の多用、特に、「自



Jacobi, E.R. Guiseppa Tartini; *Traité des Agréments de la Musique*. Hermann Moeck Verlag, 1961. 請求記号●C1-534

『ヴァイオリン奏法』の 背後にある音楽観

一般の人々の音楽を収集していること、「自然」と「人工」を明

確に対比させていることなどの特徴はタルティーニの音楽観と深く結び付いていると想像できます。

そこで、タルティーニの著書『音楽論』(『Trattato di musica secondo la vera scienza dell'armonia』)を参照してみました。『音楽論』は1754年に出版された音楽理論書で、その一部にタルティーニの自然観、音楽観を知ることができることが記されています。

その結果、次のように

- ①人々の感情を喚起する「良い趣味」の音楽は、古代ギリシャの朗唱的な、単声部による音楽曲で、自然に従っている曲である。
- ②現代(タルティーニの時代)で良い趣味の音楽を実現したいならば、自然を模倣する方法しかない。
- ③自然を模倣するために、一般の人々に歌い継がれているイタリアの古い音楽を観察し、収集することが必要である。
- ④生まれつきの自然が備わっていない時、あるいは、声楽曲ではなく器楽曲である場合、適切な装飾を適切な場所に適用することで不足している自然を補うことができる。

という段階的な思考がタルティー

ニの音楽観の背景にあると考えれば、『ヴァイオリン奏法』に見られる特徴、つまり、何故、一般の人々の音楽を収集したのか、また、何故、装飾法に特別に力を入れているのか等について理解することができますことがわかりました。

また、興味深いことは、L.モーツァルトがタルティーニのこの『ヴァイオリン奏法』から数多く譜例も解説も引用していることです。実際に両者の指導書を突き合わせてみると、殆ど同じ譜例とコメントが幾つも見つかります。

『ヴァイオリン奏法』に解説されている具体的な装飾についての紹介はここでは省略しますが、バロック時代の音楽を考察する上で参考になることが多数書かれています。

さて、実際はどうでしょうか。私のタルティーニ研究は入り口に入っただけです。まだまだ奥が深そうです。

■文献・資料紹介

- アグリーコラ、ヨハン・フリードリッヒ『歌唱芸術の手引き』東川清一訳、春秋社、2005。[原典: *Anleitung zur Singkunst* (1757)] 請求記号●J104-993ほか
- バッハ、カール・フィリップ・エマヌエル『正しいクラヴィア奏法』第一部 東川清一訳、全音楽譜出版、2000。[原典: *Versuch über die wahre Art das Clavier zu spielen* (1753)] 請求記号●C65-162ほか
- モーツァルト、レオポルト『バイオリン奏法』塚原哲夫訳、全音楽譜出版、1974。[原典: *Versuch einer Gründlich Violinschule* (1756)] 請求記号●C22-573ほか
- クヴァンツ、ヨハン・ヨアヒム『フルート奏法』荒川恒子訳、全音楽譜出版、1976。[原典: *Versuch einer Anweisung die Flöte traversiere zu spielen* (1752)] 請求記号●C24-877ほか
- ジェミニアーニ、フランチェスコ『バロックのヴァイオリン奏法』内田智雄訳、シンフォニア、1993。[原典: *The art playing on the violin* (1751)] 請求記号●C58-531
- 橋本英二『バロックから初期古典派までの音楽の奏法』音楽之友社、2005。請求記号●J106-436
- Boyden, D.D. *The History of Violin Playing from its Origins to 1761 and its relationship to the violin and violin music*. Oxford University Press, 1965. 請求記号●C11-776ほか
- Burney, Charles. *A General History of Music-From the Earliest Ages to the Present Period*, volume the second with critical and historical note by Frank Mercer. Dover Publications, 1935. 請求記号●C1-926ほか
- Jacobi, E.R. *Guiseppa Tartini; Traité des Agréments de la Musique*. Hermann Moeck Verlag, 1961. 請求記号●C1-534ほか
- Tartini, Giuseppe. *Trattato di Musica secondo la versascienza dell'armonia, A Facsimile of the 1754 Padua Edition*. Broude Brothers, 1966. 請求記号●C2-030

イーजीリスニング考

宮部 真砂子

イーजीリスニングは聴き手に傾注を要求せず、気楽にBGMとして聞き流してもらい、リラクセスさせることを目的にした耳に心地よい(多くの場合は)インストルメンタル音楽。「新編音楽中辞典」より

最近、以前に較べて新聞の訃報が気に掛かるようになった。自分が知っている人物が増えたからであらうか。

2006年11月3日、フランス人指揮者のポール・モーリア死去のニュースに接して、私の頭の中には、ポール・モーリア↓ジェットストリーム↓イーजीリスニングという言葉が、連想ゲームの様に浮かんでいた。

ポール・モーリアの音楽が全盛を極めた頃に学生時代を過ごした私は、その当時、同世代の多くがそうであったように、やはり夜型人間であった。時間の制約があまり無い日々の生活の中で、ふと

がつくとすでに日付変更線を越えていたという状況はめずらしくはなかった。

そしてそんな時、私の傍らにはいつもラジオがあり、流れていた番組の一つが「ジェットストリーム」だった。「ジェットストリーム」は故城達也氏を初代パーソナリティとして、1967年にFMラジオで放送開始された。

番組は《ミスター・ロンリー》を開始曲として「遠い地平線が消えて…」という名調子のナレーションから始まり、ラスト曲は《夢幻飛行》という毎回の構成であり、曲と曲の合間には深夜という時間帯にふさわしく、低音で心安らぐ

城氏のナレーションが挿入されるという形式であった。一日を締めくくするのに最適な心地良いこの番組の雰囲気は、私はとても好きだった。

さて、この番組でもポール・モーリアの曲は良く使用されていた。名前に聞き覚えがない人でも、メロディーを聴けば絶対にいつかどこかで聴いた事があるに違いない。彼は、イーजीリスニングというジャンルの第一人者として世界的に人気を博した。上品で聴きやすいそのサウンドは、特に日本人に親しまれ「イーजीリスニング界の大御所」と呼ばれ、ポール・モーリア・グラランド・オーケストラを率いての日本でのコンサート回数は千二百回にも及んだ。

又、モーリア自身も「日本は第二の故郷」と語る親日家で、95年の阪神大震災の際には被災者救済の為にアルバム『カルテット・フォー・神戸』を発表した。

代表作としては《恋はみずいろ》(グラミー賞受賞)《蒼いノクターン》《エーゲ海の真珠》《涙のトッカタ》《オーリーブの首飾り》(今やマジック・シヨアのBGMとしてあまりにも有名)などがある。

元々、イーजीリスニングと


いうジャンル自体が曖昧なものであった為に、解釈は広がり続けているが、現在このジャンルに分類されている主なアーティストには、日本のクラシック界及びその周辺で活躍中の次の人達の名前も含まれている(中野振一郎・西村由紀江・村松健・神山純一ほか)。

イーजीリスニングというところ、その悲しき命名ゆえなのであるうか、何となく軽く扱われている様な気がするが、緊張を強いる事のない聴きやすい音楽の効用は意外に大きいのではないだろうか。

結局、クラシックであろうがポピュラーであろうが良い音楽は良いのである。やはり、ボーダーレスとは時代の必然の様である。

当館で利用できる資料

- ◆「イーजीリスニングの本」(請求記号:CD26-174)
なんと30年前の出版。エフエル塔をバックに表紙を飾る、ひげを蓄えた上品な人物がポール・モーリアである。
- ◆「出谷啓著『CDで聴くムードミュージックとイーजीリスニングのスタアたち』(請求記号:J55854)
本書では、ムード・ミュージックというジャンルを結果的にだめにした人としてポール・モーリアを評価している。
- ◆「ポール・モーリア名曲全集」(請求記号:CD23470)
- ◆「ポール・モーリア魅惑のラヴ・サウンドス」(請求記号:CD31362)



お薦め！ 諦める前の 図書館員との対話

小関 康幸

大学生になったら、あの本を読みたい、あのCDも聴きたい、という意欲をもって入学された方も多いのではないだろうか。大学生活を送っていくうちには、知りたいことや調べたいテーマが先にある、そのために役立つ資料を図書館で探すケースも起こることでしょう。時と場合によっては、うまく資料が探せず苦労することすらあり得ます。そんなとき、あなたならどうしますか？

♪ある相談

ある日、一人の学生さんが、有名な詩をドイツ語で朗読している音源（CDやカセットテープなど）を探しにAV資料室へやってきました。もちろん、自分で探したのですが、「これ」といった資料が見つかりませんでした。そこで、思い切つてカウンターの図書館員に相談してみたのです。聞きたかつた朗読とは、ゲーテの「すみれ（Veilchen）」の原詩。モーツァルトの歌曲にもなっていて有名です。お相手をした図書館員も、探せるかもしれないと思いつつお手伝いしました。

ところが、OPACのタイトルに「Veilchen」、件名や注記に「narration」「narrator」「recitation」といった朗読にかかわる用語を入力して探したのですが、残念ながら見つからなかったのです。そこで、調べる時間を借りて、ひとまず学生さんは帰りました。

♪図書館員の共同作業へ

次に図書館員がとつた行動はというと、探せなかったことが悔し

くて号泣したわけでもありませんし、忙しさのあまりケロリと忘れただけでもありませんでした。実は、ある方法を使つて同僚にアドヴァイスを求めたのです。

するとしばらくして、いくつかの答えが返つてきました。まずCD付きのドイツ語の学習図書を探せばみつかるともいれないという指摘でした。これは当館ではAV資料としてではなく、図書で探さなくてはなりません。さしいしよに相談をお受けした時は条件にあてはまるAV資料がないかを探したのでした。なるほど、資料の種類を広げて探してみると見つかる可能性が高くなるかもしれません。

さらに、目的の詩が収められているかどうかはわからないとしても、CD付きのドイツ語学習図書やドイツ詩を扱つた具体的な資料名を挙げた同僚が2人続きました。それらを調べていくと、中島悠爾・田ノ岡弘子著『NHKドイツ語《歌と詩》』（請求記号●C223.982）には、付属のカセットテープに、求める朗読が収められていました。

これらは職場内のネットを介して情報を交換し、作業を共同で

進める方法で行ないました。アドヴァイスを求められた同僚たちも、自分の過去の知識や経験を活かして、比較的短い時間で情報提供ができました。

♪さらに資料を求めて

しかし、ここで館内のやりとりが終わつたわけではなく、もう少しこの種の資料について図書館としても調べたいのでは、という声もあがりました。そして、図書館にどういった資料を購入するか選定する係に、該当する資料があるかどうか調べてもらうことになりました。その後の調査では、適当な資料は入手できなかったようです、残念！

皆さんからいただく相談の内容は多岐にわたりますから、時には最善を尽くして調べても、求められたお答えが出せないケースもあるかもしれません。でも逆に、今回ご紹介したように、皆さんの眼に触れないところで意外な展開をしているケースもあるのです。皆さんが何かのテーマで資料を探しきれない時など、簡単に諦めずにかウンターに来てくださいね。

●こせき やすゆき 本を読んで疲れたら、思い切り春風を吸い込む。すると鼻水とくしゃみが止まらなくなって…。春は憂鬱な季節でもあります(涙)。

竹内道敬寄託文庫目録（その十一） 電子化公開

昨年（2006年）、11冊目の「竹内道敬寄託文庫目録」*が、本学の創立80周年事業の一環として刊行されました。2005年に竹内道敬氏（本学元教授）から新たに追加寄託された貴重な資料の目録です。この度、この目録に掲載された全1658点の資料の電子化を行い、当館参考図書室の情報端末から利用できるようになりました。画像は「ZOOMA」（高精細画像閲覧ソフト）を使用し、簡単な操作で閲覧できるようになっています。

内容は以下の通りです。

半太夫節・河東節（薄物正本8点、合本1点）、宮古路節（薄物正本156点、段物集7点）、常磐津節（薄物正本221点：うち江戸版180点、名古屋版41点）、富本節（薄物正本1点）、清元節（薄物正本19点）、長唄（薄物正本1137点：うち江戸版1083点、名古屋版54点、合本2点）、新内節（薄物正本12点）、義太夫節（薄物正本96点）

○長唄正本の内、73点は、杵屋宇太蔵旧蔵資料（旧野口文庫）である。

表題、大きさ、上演記録などの目録情報は含まれていません。また、掲載順は資料の登録番号順となっていますので、冊子目録と併せてご利用ください。冊子目録には一部資料の表紙の図版しか掲載されていませんが、電子版では全資料の全頁を閲覧することができます。カラーで撮影されていますので、白黒撮影のマイクロフォームとは違い、資料そのものの色合いを見ることができます。1点ずつ異なる紙の色や、虫食いの穴を見れば、古くから継承されてきた資料の持つ歴史が感じられるでしょう。必要な画面の印刷は自分で実行することができます。ただし、印刷は白黒になります。また、画像そのものの利用方法については、現在検討中です。今までに刊行された10冊目までの冊子目録に掲載されている資料はマイクロフォームによる利用となりますが、今後、順次電子化を進めていく予定です。

電子化の作業は、立命館大学アート・リサーチセンターとの「学術情報に関する相互協力協定」により実施されました。

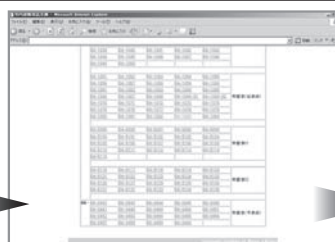
竹内文庫画像データベースの使い方



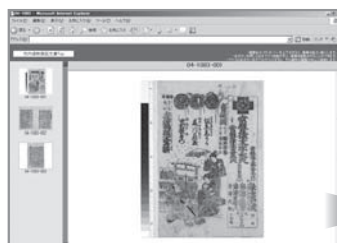
参考図書室の情報端末の初期画面にある「竹内道敬寄託文庫」をクリックします。



目録に記載されている、資料の登録番号の順に並んでいます。例えば、「04-1083」を閲覧したい場合は、その番号の含まれる「04-1051～04-1084」をクリックします。



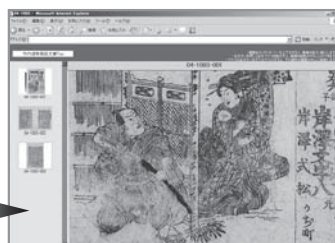
該当する番号を含む箇所がページの上部に来ますので、ここで「04-1083」をクリックすると、画像が表示されます。



左側のサムネイルをクリックすると、右側のフレームに画像が表示されます。



右端にあるスライドバーを上にも動かすと縮小、下にも動かすと拡大します。



画像の上でマウスの右ボタンを押し、そのままマウスを動かすと、マウスの動きに合わせて画像が移動します。画像の上でマウスの右ボタンをダブルクリックすると、その場所が画面の中心に移動します。元の状態に戻すには、もう一度サムネイルをクリックします。

* 根岸正海・吉野雪子編『国立音楽大学附属図書館 竹内道敬寄託文庫目録（その十一） 追加篇（四） 宮古路節・豊後節・長唄・その他の部』（2006）請求記号：J107-859；J107-860；参考図書室：RXY-460/T

ナクソス・ミュージック・ライブラリー お使いください

NAXOS MUSIC LIBRARY 国立音楽大学附属図書館
ご利用後は必ず ログアウト してください

HOME カタログ 検索 ニュー・リリース プレイリスト 辞典/資料 NAXOSについて Naxos Music Library の使い方 ヘルプ

カテゴリー検索

ジャンル

- クラシック
- ジャズ・コンテンポラリー
- ジャズ・レジェンド
- ノスタルジア
- ワールド・ミュージック
- ニューエイジ
- 中国の音楽
- ロック/ポップス

作曲家別

代表的作曲家

カテゴリー

- 交響曲/管弦楽曲
- 協奏曲
- 室内楽曲
- 器楽曲
- 声楽曲
- 合唱曲(宗教曲)
- 合唱曲(世俗曲)
- オペラ・オペレッタ
- バレエ
- ミュージカル
- 映画音楽
- コレクション
- 教養/知識
- ベスト・セレクション

レーベル

- ABC Classics
- Alba
- Alpha
- Amadis
- Analekta
- ARC
- Artek
- ATMA Classique
- BIS
- Brama Records
- Bridge Records
- Caprice
- CBC
- Cedille
- Celestial Harmonies
- Chandos
- Collegium
- Coro
- CPO
- Dacapo
- First Edition
- Gimell
- Hänssler Classic
- Hungaroton
- Klavier
- Marco Polo
- Middle Kingdom
- Morrison Music Trust
- Naxos
- Naxos Historical
- PentaTone
- Profil
- Prophone
- Proprius
- Romophone
- SDG
- Signum Classics
- Stockhouse
- Syedish Society
- Toccata Classics
- Wergo
- White Cloud
- Yellow River
- Zebra Arts

こども広場

- クラシック音楽の歴史

皆さんは図書館1階のインターネット室で「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」が利用できるのを知っていますか？

これはクラシック音楽を中心とした楽曲を、インターネットで聴ける音楽配信サービスです。

現在のところ、NAXOS（ナクソス）レーベルの持つすべての音源と、その他に計50レーベル、作曲家が9600人、楽曲数は何と210,000曲も聴けるのです。しかも音源は毎月増えています。ジャンルもクラシック以外にジャズ、ワールドミュージック、ニューエイジ、ロック・ポップスなど多岐にわたります。

図書館の19時までの開館日は、本学の学生の皆さんは1泊2日でCDを2枚借りることが出来ます。レッスン曲や試験曲など、聴きたいCDはいろいろありますよね。もし、CDが貸出中だったり、聴きたい演奏家のCDがなかったら、そんな時こそナクソス・ミュージック・ライブラリーです。聴きたい曲、聴きたい演奏家を探して次々と聴く事が出来ます。

利用の仕方は簡単です！

目指す曲は、ジャンル、作曲家名、カテゴリー（交響曲、器楽曲、オペラなど）、レーベルなどの他に、演奏者や楽器名からも探せます。曲を聴くだけでなく、解説を読んだり画面上で音楽事典を調べたりすることも出来ます。一部は英語ですが順次日本語化されています。

図書館のCDは現在58,000枚あまりで、ナクソス・ミュージック・ライブラリーで聴けるのはCD14,000枚分。まだまだ数では開きがありますが、毎月の音源の増加数はめざましいので、今月聴けない曲が、来月は聴けるようになるかもしれません。

このサービスは2006年度はじめからインターネット室で利用できていたのですが、現在は本学の学生・教職員の皆さんは自宅などからも利用できるようになりました。

そのためには、図書館ホームページの「利用者ログイン（利用状況確認）」の画面から入り、画面の指示に従って「ログイン」という操作を行なって下さい。なお、同時にアクセスできるのは現在のところ10人までです。画面に「同時アクセス数を超過しています」と表示されたら、すでに10人が使っている状態ですので、しばらく待って再度アクセスしてください。

また、利用が終わりましたら、次に利用したい人が「ログイン」できるように、必ず「ログアウト」の操作をして下さい。

使い方で何か分からないことがありましたら、図書館1階AVカウンターまでお問い合わせ下さい。



「知」の寄り道…野中映 ● 1
 Welcome to our library 図書館を知るう… ● 2
 スクリャービンの自作自演について…大村新 ● 4
 ばるらんど 2005年度総目次… ● 6
 図書館員のノートから 参考図書のご紹介 ㉔ 音楽用語・略語を調べる…市川啓子 ● 7
 図書館今昔…小林紫里 ● 8
 館長室だより ㉔ 情報の対価…磯山雅 ● 9
 春のテーマ展示のお知らせ… ● 9
 CD/LD…前川健生・守田ちひろ ● 10
 変型版 CD のおはなし…石川泰子 ● 11
 Information… ● 12

249

本とレコードと私…中島洋一 ● 1
 ビーブル・ビーふる ㉔ 追悼 伊福部昭…三宅巖 ● 2
 ちょっと気になる…CD Nun klingen sie wieder…石川泰子 ● 4
 In my library こんな見つけた ㉔ あなたは誰と同じ誕生日?…曾根雅俊 ● 5
 Parlando ばるらんどのあゆみ ① Parlando Interview… ● 6
 館長室だより ㉔ よみがえる青春…磯山雅 ● 7
 2005年度新着雑誌一覧(平成17年度)… ● 7
 Library Data 2005… ● 8
 LD/ 図書…山栄理子・日比和子 ● 10
 竹内道敬寄託文庫目録(その十一) 刊行のお知らせ… ● 11
 Information… ● 12

250

情報により触発される活動…平部やよい ● 1
 Parlando Interview
 不思議の対象は、ピアノの「音」そのもの…森太郎先生 きき手・杉岡わか子 ● 2
 リレー連載 インターネットによる読書 ㉔
 明治は近くなりにつけり!? ~近代デジタルライブラリー~ …小関康幸 ● 6
 王妃に愛された作曲家…長谷川由美子 ● 7
 《時代に適応する音楽》…小林由希絵 ● 8
 コンピュータの画面で雑誌論文を読む -JSTOR と電子ジャーナルリンク集のご紹介… ● 9
 資料の館 21 ベートーヴェン ピアノ・ソナタ全曲録音…石川泰子 ● 10
 新しい CD ソフトケースの取り扱いについて… ● 12
 館長室だより ㉔ 達成感…磯山雅 ● 13
 Parlando ばるらんどのあゆみ ② ビーブル・ビーふる… ● 13
 CD…宮西一弘・宮脇千典・根本千聡 ● 14
 Information… ● 16

251

私と図書館…大友太郎 ● 1
 フラメンコ~歴史と、現在のその姿…
 2006年度国立音楽大学音楽研究専修(音楽学研究コース、音楽情報社会コース)
 専門ゼミ I、II 研究発表会 ● 2
 In my library こんな見つけた ㉔ 冥王星騒動…森岡倫子 ● 4
 白いギターの時代…大関学 ● 5
 当館の一般書について~音楽研究に関わる本とは~…青木陽子 ● 6
 図書館員のノートから 参考図書のご紹介 ㉔ 『メッツラー音楽大事典』…市川啓子 ● 8
 館長室だより ㉔ 父の日記…磯山雅 ● 9
 Parlando ばるらんどのあゆみ ③ 資料の館(上)… ● 9
 CD / 図書…樋口マキ・新藤友梨・吉田あや ● 10
 Information… ● 12

252

懐かしきレコード時代…小川哲生 ● 1
 Parlando Interview 合奏は運命共同体…淀彰先生 きき手・河田篤子 ● 2
 小説から、拾い読みつまみ読み - ベートーヴェンは好き? - …樋口眞規子 ● 6
 リレー連載 インターネットによる読書 ㉔ 世界の古典を読む - Project Gutenberg - …二塚恵里 ● 8
 2007年グリーグ没後100年にむけて…井上勢津 ● 9
 In my library こんな見つけた ㉔ スティング/ラビンス…田村和子 ● 10
 《憧れのハワイ航路》が流行った時代を知るには…屋部操 ● 11
 <童謡・唱歌索引> 公開… ● 12
 館長室だより ㉔ 朝型人間…磯山雅 ● 13
 Parlando ばるらんどのあゆみ ④ 資料の館(下)… ● 13
 CD / DVD…川口麻美・安井理恵 ● 14
 オンラインデータベースが自宅など図書館外からもアクセスできるようになりました… ● 15
 Information… ● 16

253

Parlando

ぱるらんどからのお知らせ

これまで4号に渡って連載してきた「ぱるらんどのあゆみ」、いかがですか？

『収書案内』というタイトルで、新規購入資料の一覧を刊行したのが1971年。1976年からは館員や先生方の執筆する読み物を加え、『ぱるらんど』という名前になりました。この30年、改めて振り返ると歴史を感じます。

今回は「ぱるらんどのあゆみ」をお休みし、これからの『ぱるらんど』についてお知らせいたします。

発行回数とページ数が変わります。

『ぱるらんど』は、これまで年に5回、4月、6月、9月、11月、1月に発行してきました。ページ数は、9月、11月は16ページ、他の月は12ページでした。

2007年度からは、新カリキュラムの授業日程に沿って、年4回、4月、6月、9月、11月に発行し、すべて16ページに変更します。1冊のページ数が増えることで、より詳しい、充実した記事を多数掲載できるようにと考えています。図書館で所蔵しているさまざまな資料の紹介や、図書館やOPACの便利な使い方、そのほかみなさんの学習・研究に役立つ情報を、これまで以上に盛り込みます。ご期待ください。

インターネットで公開します。

当館のホームページでは、『ぱるらんど』の目次を公開しています。2007年度に発行する号からは、このホームページ上で本文も公開することになりました。図書館に行かなくても、新しい号をもらい忘れても、いつでも読めるようになります。公開を始めたらお知らせしますので、どうぞご利用ください。

本学学生の皆さんからの原稿を募集しています。

『ぱるらんど』では、図書館資料紹介コーナーに本学学生の皆さんからの原稿を掲載しています。当館の所蔵資料のなかから、ほかの人におすすめしたい本や楽譜・CD・DVDなどを紹介してみませんか。日ごろ感じていることを文章にしてみると、新しい発見があるかもしれません。文章が活字になって残り、学生時代のよい記念にもなります。原稿の長さは900字以内(原稿用紙2枚程度)で、いつでも募集しています。本学の学生の方でしたら、学科や専修、学年は問いません。書いてみようと思われる方は、詳細をお知らせしますので、カウンターまでご連絡ください。



大学は情報源の宝庫

上野 加奈

演奏学科鍵盤楽器専修（ピアノ）4年

Book

私は、この大学に入学して多くの師や友に恵まれ、ことある毎に良い意味での「刺激」を受けてきた。日々の生活の中で「自分に必要なものは何か」「自分がしたいことは何か」を考え、自ら学ぶ（学ぼうとする）ことが大学生の勉強スタイルだと思っている。レッスン、授業、昼休みのおしゃべり、どの時間も楽しく充実していて、何気ない会話の中にもヒントがある（かもしれない）貴重な時間である。

さて、今回『ぼるらんど』の担当者の方から「図書館に所蔵している資料を1点取り上げ、紹介してください」と依頼されたので、実体験を交えてつつ資料を紹介しようと思う。

ピアノコースの推奨講義でもある「ピアノ・リテラチュアⅠ・Ⅱ」は、授業の質が高く、内容も大変興味深いもので、履修して本当に良かったと思った。ピアノ作品に対する広範な知識を獲得するべく、三回毎にそれぞれの時代のスペシャリストがオリジナリティー溢れる授業をして下さった。

それぞれの授業の魅力を語っていたらキリがないくらいで、これをきっかけにリテラチュアの世界に魅力を感じた。

そして、それと共に自身の勉強不足を痛感した。

「これではいけない……」そう思った私は、もう一度音楽史の勉強を始めようと意気込んだ。が、しかし……。古代、中世、ルネサンスと来た時点で疲れてしまった。これからの大好きなバッハのところなのに。

「勉強はしたいけれど、気持ちが付いてこない」という突拍子もない悩み（悩みというよりはぼやき）がある先生にお話したところ、「（今もあるか分からないけれど）音楽史の図鑑の本があった」という情報を下さった。調べたところ、この書物は絶版らしいが、さすが資料が豊富な国立音楽大学の図書館/閲覧室に新版があり、旧版も所蔵していて借り出せる。中を開くと本場に「図鑑」で諸々の写真を見ているだけでも楽しめる。

もちろん、奥深く詳しい内容を調べる際には他の資料と併用することが望ましいだろうが、「ぎっかけ」を掴むには十分である。字面だけではピンと来ないものも、写真を見ることで確実に情報がインプットされる。

せっかくの素晴らしい資料、是非皆さんにも一度手に取って見て頂きたい。



開架資料●X-051/O
属啓成『音楽史大図鑑』増補版
(音楽之友社 1983)

●うえのかな 最近、おいしいお茶の煎れ方を覚えまして。お菓子とお茶でゆったり過ごす時間が好きです。

カルメン

善里 卓哉

音楽学科平成18年度卒業

DVD

個人的な話なので申し訳ないけれど、自分の歌のレッスンで曲を持っていくと、先生から「音程の事ばかり気にしないで、もっと自分の気持ちをこめて歌いなさい。君はもっと感受性を磨かなければいけない。」と指導を受け、そんな事はないだろう、ちゃんと歌えていると思うが一体どうすれば良いのだろうと歯がゆい気持ちでいた時に、図書館で何気なく手に取って観たのが、今回紹介する映像、1987年にメトロポリタン歌劇場で上演された『カルメン』である。

《カルメン》といえば、冒頭の前奏曲から《ハバネラ》《闘牛士の歌》《花の歌》等、オペラを知らない人でも聴き覚えのある名曲揃いで、CDを聴くだけでも充分楽しめるのであるが、やはりこの名曲の数々を生み出す、情熱的で生々しい物語は、視覚を加えるとより一層迫力を増す。特にこのメトロポリタン歌劇場で上演された《カルメン》を見るとよく納得できるのではないだろうか？

メトロポリタン歌劇場は、収容人数が約四千人と世界でも有数の歌劇場である。そのスケールの大きな舞台で彩る《カルメン》の世界。

たとえば二幕冒頭のシーンでのダンサーによ

る舞踏や子供達を含む町人、ジプシー、闘牛士、軍人、と様々な出演者達（馬まで登場する!!）幕ごとに変わる舞台、衣装とどこを取ってもスケールが大きく手を抜かず、細部に渡って物語の世界観を創り出している。

そして何よりこれだけの舞台、人間、労力を背負って歌う、タイトルロールのアグネス・バルツァ、ドン・ホセ役のホセ・カレラスらソリストたちの熱演、熱唱である。

一体こんなスケールの大きな舞台で演じるのは、歌手としてどれほどのプレッシャーなのだろうか？

そんな事を全く忘れてしまったかの様に心の底から役を演じ歌い上げるソリストたちを観て、感銘を受けたのと同時に、自分のレッスンで指摘された点を痛感した事をはっきりと覚えている。

という訳で、自分のこれからの歌の原点として、課題として、またとてつもなく大きな目標であるこの映像資料を観ていない方は是非観て欲しいと思います。

おすすめです。



請求記号 ●VE11
ビゼー『カルメン』：歌劇：全曲
PolyGram, Deutsche
Grammophon: VDI 82761

●よしさと たくや 最近ではMETと言えばメトロポリタン歌劇場の事ではなく、メタポリック症候群の事なのだそうです。僕もまもなくMET入りです。



ピアノは、音楽を学ぶ者が必ず出会う楽器である。ピアノ専攻生なら言うまでもなく、殆どのコースでもピアノを弾かなければならない。好きか嫌いかを別にしても、ピアノは私たちにとって身近な楽器で、それは不変的な事実なのだ。

『ピアノによせて』は様々な作家によるオムニバスの本で、彼らの中には音楽を生業としている人もいる。内容は、ピアノレッスンでの思い出話、影響を受けた作品や演奏会についてなど、話題の全てがピアノによせて書かれたものだ。

私は、それらの古き時代のエッセイに、驚き、頷き、想いを膨らみます。特に、パリへ行く前後では同じ文章―「原型」の響―シヨパン“饗庭孝男”を読んでも、受け止め方が違っていて面白かった。

シヨパンは数多くのピアノ作品を書いている。それらはピアノニストたちを虜にさせてきた。その魅力は今もなお、陰ることがない。私もピアノを弾いているうちに、自然にシヨパンに憧れを抱くようになっていた。しかし、彼の音楽は私にとつて遠い存在であり「何故美しく綺麗なのか」が分かっていかなかった。だから、パ

りに行く前にこの文章を読んだとき、私は「冷たい冬のパリの夜」があまり想像できなかった。しかし、パリの都を体験した私は、この文章に書かれているシヨパンの「夜」に共感でき、嬉しかった。同じ文章を読んでも、読むときの意識によつて、全く新しいものが語りかけてくる。

くほのかに揺れるランプの灯が、黒い影を落とす。

そんなパリの街並みは、ロマンティックなシヨパンの作品がとてよく似合う。

本を読むことは、私にとつて「新しい世界に近づく手段」である。この素晴らしい音楽図書館で、様々な本たちと出逢い、さらなる自己追求を目指してほしい。

それが、卒業生から後輩によせてのメッセージである。



請求記号 ●C47-178
遠山一行編『ピアノによせて』
(音楽之友社 1989)

●やまぐち ちえ お花見には、もう行きましたか？ 桜も素敵ですが、タンポポの花も見事です。さあ、眠たい目をこすつて出かけましょう！

基礎ゼミ体験実習・図書館

新入生のための基礎ゼミ体験実習が、学科別に4月5日(木)～7日(土)に行われます。この期間は、全館を使つての実習となりますので、図書館は閉館いたします。

CDの貸出開始

本学の学部学生、大学院生の方へのCDの1泊2日貸出は4月16日(月)から始まります。

住所変更は？

春は引越しの季節ですね。新しく住所が変わった方は、落ち着いたら図書館に住所変更の手続きをお願いいたします。

TACを利用しよう

OPAC、カード目録をみても見つからない資料はありませんか。あきらめないで、TAC加盟館(ICU、東京経済大学、津田塾大学、武蔵野美術大学)の図書館資料をTACOPACで調べましょう。所蔵していればTELサービス(図書館間貸出)が利用できます。通常、申込から2日位で資料が到着します。詳細は受付カウンターでお尋ねください。

忘れ物の確認は掲示板で

図書館で見つかった忘れ物は、2階返却カウンター横の掲示板でお知らせします。学生証はレファレンスカウンターで、それ以外は返却カウンターで預かっています。心当たりの方は掲示のメモを持ってカウンターへお越しください。

卒業生の方へ

図書館は卒業してからも登録すれば利用できます。利用の種類や方法については、「図書館ガイド」卒業生利用者用」をご覧ください。詳しくは、参考図書室内のレファレンスカウンターにお尋ねください。科目履修生、本学大学院、アドヴァンスコースに進学された方は、「卒業生登録」をしないように注意してください。

今年の表紙は？

254号から表紙が変わりました。今年度は武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻日本画コース2年の今井康子さんの作品です。

作品コメント

「シルエットで構成された空間は、物自体が主体となり、私たちが普段見ている世界とは次元が異なるように見える。見慣れている物だけがどこかが違う。」

テーマ展示 in ブラウジングルーム・AV資料室

絵画と音楽

2月5日(月)～3月16日(金)

音楽が絵画を生むことがあれば、絵画が音楽を生むこともあります。絵の前で立ち止まって耳を澄ましてください。あなたの心に音楽が響いてきませんか？古くから、音楽と絵画はお互いに深く影響しあってきました。レッスンで演奏する曲やコンサートで聴いた音楽の視覚化として、芸術という幅広い視点で音楽を見つめてはいかがでしょうか。ほんの一部ではありますが、簡単にご紹介したいと思います。展示からインスパイアされ、演奏に反映されれば幸いです。

「ヨーロッパを飛び出したクラシック音楽」 Classical music meets different cultures ～両大戦間の音楽を中心に～

2007年度「新入生基礎ゼミレクチャーコンサート参考資料展」

4月5日(木)～5月2日(水)

ゲスト

- 12月 8日 大阪音楽大学の方2名
- 1月15日 ジョグジャカルタ国立芸術大学の学生さんと講師9名
- 3月20日 香川県立高松第一高等学校の新3年生30名

Library Calendar

4

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

6

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

- ◆ 閉館
- ◆ 月～金 8:50～19:00 (書庫内資料の受付は18:00まで) ● A V資料室 8:50～18:40 (受付は18:00まで)
- ◆ 土 8:50～16:40 (書庫内資料の受付は12:00まで) ● A V資料室 8:50～12:00 (受付は11:40まで)
- ◆ 印 8:50～16:40 (書庫内資料の受付は16:30まで) ● A V資料室 8:50～16:30 (受付は16:10まで)
- ◆ □は学内者のみ

Parlando・詩のふし・254冊・April 3, 2007・詩のふしを語りかけるように歌へようという意味の雑誌です ■発行・国立音楽大学附属図書館 ■編集担当・石川泰子・森岡倫子 ■